

平成30年度 常置委員会だより N O . 3

組織・連携委員会編

北海道PTA連合会

平成30年12月14日（金）発行

平成30年12月1日（土）に今年度最後の第3回常置委員会が開催され、今年度の取組や研究のまとめと次年度の方向性等について協議しました。

(1) 平成31年度北海道ブロック研究大会札幌大会での発表PTAの絞り込みについて

上記事項に係わり、各地区のコミュニティースクール（以下CSと表記）の実施状況について意見交流を行い、様々な視点から議論しましたが、以下確認事項を含めその協議結果についてお知らせします。

- ① 今年度の会議で、平成31年度の発表は「CS」と確認されている。
- ② 前回の会議で、提言地区は2つ（胆振西部地区、後志地区）に絞り込むことが確認されている。
- ③ 今年度中に各地区に依頼をし、決定する。
- ④ 提言発表は、単P（単一PTA）に依頼をし、決定する。
- ⑤ 決定後、3月中旬までに、提言Pの状況について、提言の大筋について項目を示し整理した物を提出していただき、新年度の組織・連携委員会に引き継ぐ。

平成30年度組織・連携委員会 研究のまとめと次年度の方向性

1. 今年度のテーマ

『ともに学び・行動し・連携するPTA活動と活性化のための組織のあり方』

2. 成果と課題

(1) 【成果】

- コミュニティ・スクール制度について理解が深まることにより、学校や子どもたちを支援する体制として、PTAによるコミュニティ・スクールへの関わり方を考えるきっかけになった。
- 平成29年度に実施したコミュニティ・スクールアンケートにより、各地域における学校・家庭・地域の連携・協働体制の実情を把握することができた。

- コミュニティ・スクール制度を活用して、地域が一体となって学校を支える仕組みを構築することにより、PTAが主体性を発揮して、より一層の活動の充実を図ることができることを認識できた。

(2) 【課題】

- ◇ コミュニティ・スクール制度を採り入れている地域が身近にないために、制度内容について十分に理解する必要がある。
- ◇ PTA組織とコミュニティ・スクール組織の相違点等について、より一層理解の促進を図る必要がある。

(3) 次年度の方向性

○ コミュニティ・スクール制度におけるPTAの位置付けについて

地域とともにある学校づくりを目指して全国的に拡充するコミュニティ・制度を活用する中で、各PTAが、どのようなアプローチで活動を広げ、子どもや学校を支える体制づくりを構築するのかについて、研究を深める。

○ 平成31年度に向けて

平成31年度札幌大会において、コミュニティ・スクールとPTAの関わり方について方向性を明らかにするための提言発表を行い、全道のPTAに発信する。

○ 2020年度に向けて

2020年度に向けて、PTA組織の在り方について検討し、PTA活動の意義や組織体制の確保に向けた有効な手立てについて検討する。または、検討するための情報等を集める。

* 「常置委員会だよりNO. 3」は、道P連のホームページ「常置委員会 2018年度」に掲載します。(12月下旬にHP掲載)



北海道PTA連合会事務局

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目

共栄火災ビル7階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp